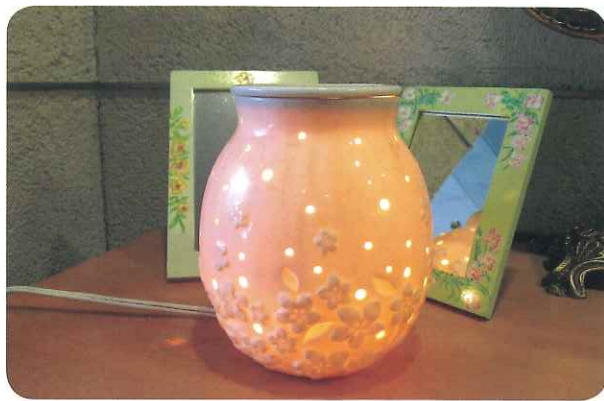




アロマの香り、再び

2014年7月発行の本欄で一度ご紹介したアロマの香り。アウルではエントランスでアロマポットを毎日焚いて、館内の空気を心地よく演出しています。

ストレス解消や気分をリフレッシュさせる効果はもちろん、嗅覚の刺激は脳の活性化も促してくれるアロマの香りには隠れファンも多く、「我が家でも始めました」というご家族もちらほら。訪問診療のドクターは、看取り後の重い気分をアウルで



の診察に持ち込まないよう、エントランスで深呼吸し気持ちの切り替えに役立てているそうです。

さて、11年前の香りはアロマオイル3種類の日替わりでした。現在の香りは、武田施設長が長年の経験から導き出したグレープフルーツとレモンガラスの独自ブレンド。「調合を知りたい」と告げれば、武田施設長がこっそり教えてくれますよ。



◀今年初めて夏風邪をひいたりりこ

自衛隊から介護職へ

今年3月からケアマネジャーとして勤務しております佐藤嘉彦と申します。元・自衛隊員で体力には自信があり、即応予備自衛官にも登録しています。今も年間合計30日間自衛隊に出頭し訓練を受けており、いざ災害等が起こった際は被災地に派遣され被災者の支援に当たります。



ケアマネジャー 佐藤 嘉彦

介護の仕事を始めたきっかけは、身体障害のある歳の離れた亡き父。高齢になるにつれ発生する生活での様々な支障から介護に関心を持つようになり、職業訓練を経て介護業界に飛び込みました。介護職の経験は13年ながら、ケアマネとしてはまだ3年弱です。経験の浅い若輩者ではありますが、精一杯努力をし皆様のお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関
●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家

その73
2025年11月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



万博とノーベル賞

代表取締役 武田 治信

救急車のサイレン音を耳にすると「熱中症」の文字が浮かぶほどの酷暑だった夏もいつの間にか過ぎ、アウルコートの中庭から聞こえる虫の声に秋を知るこの頃です。

今年の一大イベントの大阪万博は、当初、離れた地のお祭りとししか映っていませんでしたが、毎日テレビに流れる大屋根リングの会場風景には何故か心惹きつけられるものがありました。それが、日本の神社仏閣の建築に用いられてきた伝統的な工法の貫接合に現代の手法を加えて建築されていること知り、さらに世界最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定されると聞き及んで、日本の文化に快哉!と感動を覚えました。

中秋の名月に見入っていた10月6日の夜、ノーベル生理学・物理学賞を坂口志文大阪大学特任教授と共同研究者2氏に授与するというニュー

スが飛び込みました。8日には北川進京都大学特別教授と共同研究者2氏のノーベル化学賞受賞も発表され、ダブル受賞の快挙に国中が沸きました。昨年の日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞に続き、日本は2年連続の受賞です。

同じ年のおふたりは旺盛な探求心で現在も研究を続けられています。坂口教授たちが発見した「制御性T細胞」は長い間存在が疑われており、それでも興味を持ち続けるのが研究者の原点と考えてひたすら研究を継続したといえます。一方の北川教授は老荘思想の「無用の用」を座右の銘とし、何の役にも立っていないと思われた1価銅イオンに役割を見い出して「金属有機構造体(MOF)」の本格研究に繋がったそうです。粘り強い日本の基礎研究にも快哉!です。



6年ぶりの笑顔 園児たちが来訪

アウルでは新型コロナウイルス感染症が大流行した2020年以来、外部からお客様を迎える交流行事を制限していましたが、ようやく今年再開となりました。

そのひとつが、9月11日（木）に行った敬老会です。認可保

育所「遊・Wing」の子どもたちが、2013年から毎年訪問してくれました。この5年間はビデオレターでの交流でしたが、今年は直接会うことができました。

職員6名を含む17名のお客様を迎え、会場のレストランは一気に賑やかに。歌やお遊戯の披露、手作り小物入れのプレゼントに加え、入居者様ひとり



ずつにその場で似顔絵を描いてくれました。目を合わせて言葉を交わし、元気な子どもたちのエネルギーを分けてもらいました。

「心がふるえた」 生演奏のチカラ

もうひとつの行事は、9月27日（土）開催のレストランコンサートです。開設以来、年2回音楽家を招き、ご家族や地域の方も聴きに來られるほど好評を博していました。

6年ぶりの再開となった今回



は入居者様限定で、声楽家の伊藤真由美さんとピアニストの水谷澄子さんが出演。選曲はクラシックの名曲から唱歌まで誰しもが耳馴染みのある楽曲ばかりで、最後の「故郷」は全員での大合唱となりました。

1曲目の「アヴェ・マリア」から何名もが感涙にむせび、終演後は「心がふるえたよ」「あの人はただ者じゃないね」と絶賛の声多数で、「会場は感動の



嵐でした」と武田施設長。行事休止中は動画のコンサートを鑑賞していましたが、アンプを通さない生の歌声や楽器の音色にはやはり特別なチカラがありました。今後は感染症対策は維持しつつも、コンサートはできるだけ開催していく予定です。

コロナ禍を経て再びお客様をお迎え 交流に心ぬくもる秋の午後



アウルの四季彩々日記

●7/22（火）・23（水）

ラベンダードライブ

7月のお花を愛でるドライブは真駒内滝野霊園のラベンダー園へ。タイミングはよかったのですが、酷暑のせいかボリュームがいまひとつで、再び来年に期待です。名物のラベンダーソフトは変わらぬおいしさでした。



●7/30（水）

恒例サマーフェスタ

炭火焼きの鳥串やノンアルコールビールでビアガーデン気分になりながら夏を楽しむ恒例のサマーフェスタ。今年は暑すぎて、屋外の中庭にも扇風機が登場。セミの大合唱と相まって夏の要素が濃厚なひとときとなりました。



●8/27（水）・28（木）・29（金）

テイクアウトで昼食日

猛暑をウナギで乗り切ろうと企画したうなぎ仲じまのテイクアウト。初めてのお店でしたが好評でした。「お寿司のほうが好き」

の声に応じて、回転寿司トリトンのテイクアウトも選択肢に加え、さらに満足度アップです。

